

令和3年度 教育事業 ボランティア養成事業
「やる気！元気！ボランティア！」

1 趣旨

ボランティア活動に必要な知識や技能の向上を図り、ボランティアとしての資質を高め、広く社会でボランティア活動に取り組める青少年を育成する。

2 日程

(1) 期 日 令和3年7月10日(土)～11日(日) 1泊2日

(2) 参加者 大学生 30名
(男性12名、女性18名)

(3) 研修内容

| 7月10日(土)【館内泊】 | 7月11日(日) |
|-------------------------------|-------------------------|
| 8:45 受付 | 6:00 起床 |
| 9:00 開講式 | 7:20 朝食 |
| 9:30 実習「安全管理(救命救急講習)」 | 9:00 実習「ボランティア活動の技術」 |
| 12:30 昼食 | 12:10 昼食 |
| 13:30 講義「青少年教育」 | 13:00 講義「青少年教育施設の現状と運営」 |
| 15:15 実習「ボランティア活動の技術」 | 14:00 講義「ボランティア活動の意義」 |
| 17:30 夕食 | 16:15 閉講式 |
| 18:15 説明「青少年教育施設におけるボランティア活動」 | 16:30 解散 |
| 20:30 入浴 | |
| 22:30 就寝 | |

3 成果と課題

(1) 活動プログラムの実際

- ①サポートボランティア3名に事業運営に携わってもらい、1日目の夜の講義でボランティア活動の紹介や活動を通して感じたことを話す時間を設けた。
- ②2日目には同時開催している家族対象事業の活動指導補助の時間を設け、実際に事業参加者と関わる機会とした。

(2) アンケート結果について

- ①教育事業アンケートの満足度(「満足」と「やや満足」の評価割合)は、事業全体、事業のプログラム、事業運営、職員の指導・助言や対応の4項目において100%であった。
- ②アンケートの記述には「様々な人と関わることができ、ボランティアについての知識もついたので良かった。」「実際に子どもとふれあうことができて良かった。」「参加している学生同士の意見交換の場があってもよかった。」という意見があった。

(3) 成果と課題

①成果

- ・本年度の広報は、大学の学生課に学生用サイトへの当事業の情報揭示を依頼した。また、法人ボランティアが所属する学生ボランティア団体へも情報提供した。その結果、募集定員を超える応募があった。
- ・サポートボランティアの参画によって、参加者が積極的に質問をしたり、興味深く話を聞いたりする姿が多く見られた。参加者・サポートボランティアともに新たなネットワーク構築のきっかけとなった。
- ・定員を30名にしたことで講義や実習中の参加者間の距離を確保することができた。また、講師の協力も得ながら、できるだけ接近・接触しないような講義や実習内容にできた。

②課題

- ・本年度は「ボランティア養成事業」と「NEALリーダー養成事業」を分けたが、NEALリーダーの資格も取得しなかったとの声が多くあった。参加者の要望を聞き取り、来年度以降の実施日程の検討材料としたい。
- ・各講義や実習中、参加者自身が振り返る等を行う時間が少なく、また参加者同士が意見交換する機会もなかったため、参加者が主体的に望めるよう内容や時間を精査する必要がある。
- ・参加者が、今後能登でのボランティア活動に関わってもらえるよう、引き続き事業案内等の情報発信をし、学んだことを実践できる機会を設ける。

4 事業の様子



【救命救急講習の様子】



【レクリエーションの様子】



【サポートボランティアとの様子】



【活動指導補助の様子】